

計画策定を進めるに当たって、瀬谷区の現状と課題を次のような様々な方向から検討し、推進していく必要性のある課題として整理しました。



## 基礎調査

### 人口特性

- ・15歳未満人口、出生率とも市平均より高い。傾向としては、減少から横ばい。
- ・65歳以上の人口割合は市平均より高く、増加傾向。介護認定は約1割。
- ・障害者・児は約4,300人。(約3.5%)
- ・外国人登録者数は増加傾向。

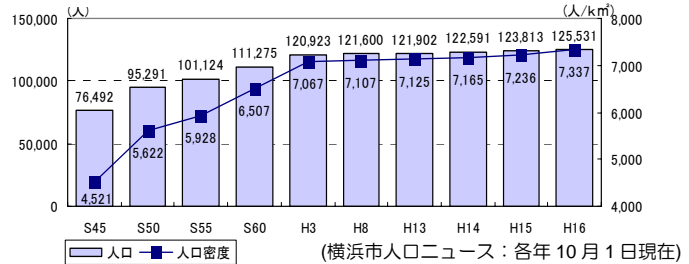
### 世帯特性

- ・市平均と比べ夫婦と子の世帯割合が高い。単身世帯割合は低いが、近年、世帯の小規模化が進んでいる。
- ・10年以上の中・長期居住者の比率(4割強)が高く、定住傾向がやや高い。
- ・持ち家が約5割。市平均と比べて公的賃貸住宅(特に市営・県営)の割合が高い。

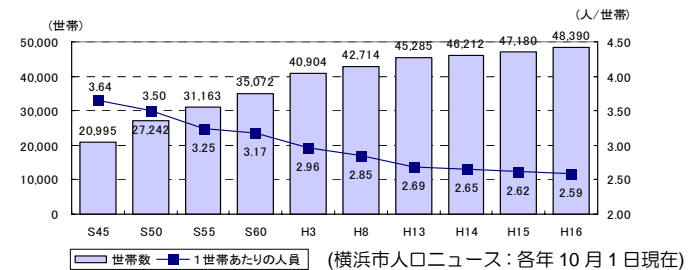
### 地域活動の状況

- ・自治会加入率は約9割で市平均より高い。

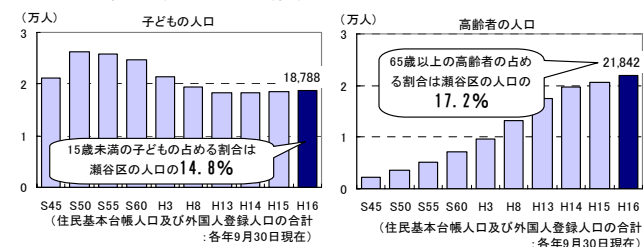
### ■人口と人口密度の推移



### ■世帯数と1世帯あたり人員の推移



### ■子どもの人口と高齢者の人口の推移



## 1万人の区民参加 区内福祉保健活動団体調査

### 調査内容

- ・区内で福祉保健分野に関わる活動をしている市民団体(ボランティア、NPO団体など)を対象にヒヤリング・アンケート調査を行いました。

### 調査期間と対象

平成16年8月1日～9月30日  
調査対象：150団体

延べ4,500人参加!

### ●ヒアリングの上位項目

#### 活動内容・対象者

- ①障害者対象  
(施設サービス、生活支援等)
- ②子ども対象  
(親子の交流、子育て支援等)
- ③高齢者対象  
(食事会、配食、介護予防等)
- ④健康づくり  
(地域ぐるみの健康づくり等)

#### 活動していく中での地域の課題

- ①地域での活動交流や場・連携
- ②地域が活動に関心をもち理解をし、参加・協力すること
- ③地域情報の収集や地域への活動の周知

#### 団体の抱える問題や悩み

- ①活動場所の施設や設備の問題
- ②会員の高齢化など組織や体制の問題
- ③担い手不足などの人材の問題
- ④利用や参加が増えない



# 1万人の区民参加 区民アンケート



## 調査内容

・広報よこはま瀬谷区版にて福祉や保健のまちづくりについてアンケート調査を実施しました。

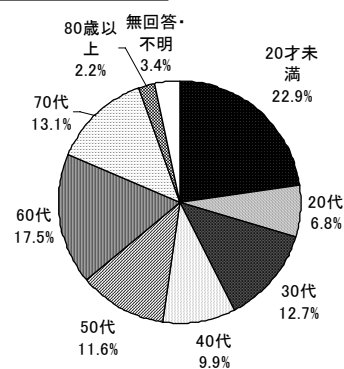
## 調査期間と対象

平成16年9月1日

～10月31日

調査対象：全区民

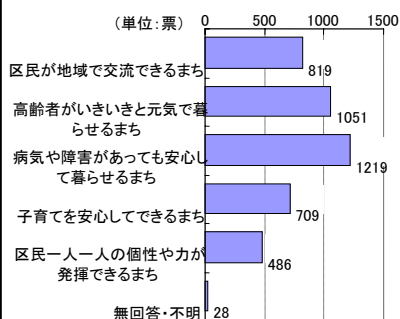
## 年齢別構成



2,204 件回答!

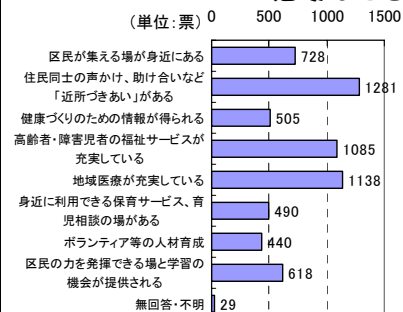
## ●区民アンケートの上位項目

### 暮らしたいまちの姿



### 地域を住みやすくするために

#### 必要なこと



### 今行っている活動

- ①自治会、町内会活動
- ②祭りや盆踊り、運動会などのイベント
- ③資源回収やごみの分別、リサイクル活動

### 今後やってみたい活動

- ①身近な水辺や緑地などの自然環境保全
- ②高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- ③その他の社会奉仕などのボランティア活動

### 健康づくりのために

#### 今やっていること

- ①規則正しく、バランスの良い食生活
- ②休養や睡眠を十分にとる
- ③趣味や生きがいづくり

### 健康づくりのためにやりたいこと

- ①適度な運動
- ②健康に関する講習会や教室への参加
- ③歯の毎日のケアと定期的な歯科検診



# 1万人の区民参加 中学生からの提言



## 調査内容

・福祉学習のワークショップや福祉体験の中で、中学生からの意見を集めました。



延べ 3,226 人参加!

## ●中学生からの主な意見や提言

### お互いが助け合うまち

- ・困っている人を見かけたら、声をかけて手助けをする。
- ・電車などで、高齢者に席を譲る。

### きれいなまちづくり

- ・ポイ捨てをしない。
- ・ゴミは持ち帰るように心がける。
- ・ボランティアでゴミ掃除をする。

### 利用しやすい道路・施設

- ・高齢者が休めるように道路脇にベンチを置くとよい。
- ・点字ブロック上に自転車を置かない。
- ・交通ルールを守る
- ・学校図書館を地域に開放する。
- ・盲導犬を同伴できる店を増やす。

### 地域の交流

- ・地域のみんなが交流できるイベントをする。
- ・公共施設を開放して地域の人々が利用できるようにする。



# 1万人の区民参加 地区懇談会



## 実施内容

・区民参画の機会、地区別計画の検討の場として、12地区ごとに開催しました。

第1回 307人参加 ※地区毎12回 ・地区の特徴と課題出し	第2回 273人参加 ※地区毎12回 ・優先課題の共有 ・対応策
---	--

第3回  
166人参加  
(地域ケアプラザごと4回)  
・地区の発表  
・ケアプラザエリアでの課題・対応策の共有

■開催会場  
(各地域で開催しました)

地区名	会場	
	第1, 2回	第3回
阿久和北部	谷戸自治会館	阿久和地域 ケアプラザ
阿久和南部	阿久和地域ケアプラザ	
三ツ境	三ツ境南住宅集会所	瀬谷区役所
瀬谷第四	パートナーせや	
瀬谷第二	下瀬谷地域ケアプラザ	下瀬谷地域 ケアプラザ
南瀬谷	南台B集会所	
宮沢	(1)睦ひばり自治会館 (2)宮沢会館	中屋敷地域 ケアプラザ
瀬谷第一	平本ビル	
本郷	日枝社	
瀬谷北部	中屋敷地域ケアプラザ	
細谷戸	細谷戸第1集会所	
相沢	諏訪社	

## 実施期間

平成16年11月6日  
～平成17年2月6日計28回開催



延べ746人参加!

## ●地区懇談会で出された主な意見

### 地域の交流

- ・近所づきあいが薄くなった。まずは挨拶からはじめ、住民のつながりを強くする。
- ・子どもとお年寄りが触れ合う機会、世代間の交流が出来る場が多くあるとよい。

### 健康づくり・いきがいつく

- ・介護予防や健康づくりなどを地域で進めることが交流や仲間づくりにもなる。
- ・定年後引きこもりがちな男性の力を地域活動やボランティア活動に生かしたい。

### 子どもの居場所・青少年の育成

- ・乳幼児や小中学生が気兼ねなく安心して遊べる場所・たまり場がほしい。
- ・子どもを大人が注意できなくなった。地域に見守られ、育つという意識が大切。

### 高齢者への地域の見守り・支援

- ・ひとり暮らしや高齢者世帯に、ちょっとした近所の手伝いがあるとよい。
- ・高齢者だけの世帯は、健康や生活、災害時などに不安を持つ人は多い。

### 障害者への地域の支援

- ・障害児とその家族は地域から孤立しがち。
- ・交流を持つことで、障害は特別なことではないという認識を持てるようになる。

### 地域活動・ボランティア活動

- ・ボランティアのニーズはあるが活動者が少ない。若い人の参加がほしい。
- ・防災・防犯やゴミ対策、地域交流などを進めるためにも自治会加入が必要。

### 地域情報の共有

- ・個人個人の困っている事に、対処できるきめ細かな地域の情報が少ない。
- ・個人情報判断は難しいが、弱みを見せ合えるような関係づくりが必要。

### バリアフリー

- ・三ツ境駅にはエレベーターがなく不便。
- ・段差が多く、車椅子などで移動が大変。

### 災害対策

- ・自主避難できない高齢者や障害者を、地域で助け合って避難できる対策が必要。

### 地域の拠点づくり

- ・空き家や空き店舗などを活用し、集会所として利用できたらよい。
- ・学校の空き教室など、公共施設を有効に活用できるように工夫できないか。



# 推進課題



1万人の区民の声をもとにいろいろな角度から検討し、瀬谷区で必要なことを次の9つの推進課題として導き出しました。

## 基礎調査

基礎調査

## 1万人の区民の声

区内福祉保健活動団体調査

中学生からの提言

区民アンケート

地区懇談会

## 推進課題

### 1 気軽に集まれる交流の場や機会をつくろう！

地区懇談会では交流の場や機会、多世代が集まれる場が必要との意見が多く出されました。区民アンケートでは、「区民が交流できるまち」、「近所づきあい」の必要性が高く表れました。

### 2 みんなの参加で元気な暮らしをすすめよう！

介護予防や健康づくり、いきがいづくりへの関心が高くなっています。また、地域ぐるみでの健康づくりは、地域の交流を促進することにもなり、積極的に進めたいという意見が多く出されました。

### 3 子どもや青少年の健やかな成長を地域で育もう！

青少年の行動や育成に対する関心が示されました。地域全体で子どもを育てるという意識を持つことが大切であり、そのためには子どもの居場所づくりが大切という意見が多く出されました。

### 4 隣近所からはじまる支えあいの人の輪を広げよう！

地域住民の生活課題に対し、解決のための取組みやアイデアがたくさん出されました。個別の活動だけでなく地域内の様々な団体の活動をコーディネートする機能も必要とされています。

### 5 高齢者や障害者、外国籍市民等への理解を深めよう！

アンケートでは「病気や障害があっても安心して暮らせるまち」が第1位ですが、地区懇談会では、障害者や外国籍市民についての意見は少数にとどまり、理解を深めることが必要です。

### 6 地域を支え、人を支える活動の担い手を育てよう！

地区懇談会では、地域活動を担う人が減少しており、人材不足が地域の課題と感じている意見が多く出されました。団体調査でも担い手の不足や活動者の高齢化が課題として出されています。

### 7 福祉や保健の情報が集まり、届く仕組みをつくろう！

地区懇談会では、情報を共有できる仕組みが必要との意見が多く出されました。また、プライバシーとの関係で情報を把握することが困難になってきており、活動上の問題となっています。

### 8 バリアフリーのまちづくりをすすめよう！

道路や駅、公共施設などの改善やバリアフリー化を求める多くの意見が出されました。また、ハード・ソフト両面からの災害に強いまちづくりを進める必要性が高まっています。

### 9 福祉・保健の拠点づくりをすすめよう！

多くの地区で、福祉や保健活動の拠点整備を望む声が挙がりました。地域の身近な活動の拠点としては、学校などの既存施設をもっと活用したいという意見が多く出されました。